

令和 4 年度

業 務 委 託 仕 様 書

公示用

業務名称

南車両基地井戸オーバーホール

札幌市交通局高速電車部施設課

1. 業務名

南車両基地井戸オーバーホール

2. 業務概要

地下鉄南車両基地に付属する井戸設備について、安定した水量を確保するため、井戸設備のオーバーホールを実施する。

3. 業務実施場所

札幌市南区真駒内東町2丁目1番1号 南車両基地 屋外地上部

4. 履行期間

契約書に示す着手の日から令和 5 年 3 月 20 日まで

5. 業務対象設備

	南車両基地
井戸	150φ×GL-100m(No.3井戸)
ポンプ	荏原製作所製:50BHS8-53.7B
ポンプ位置	36.0m
電動機出力	3.7kW、415V仕様
吐出口径	50mm
揚水能力	0.25m ³ /min
水中ケーブル	60m
その他	揚水管及び付帯盤等

6. 一般要領

- (1) 本業務を実施する際には、事前に工程表を提出すると共に、委託者と十分打合せを行い委託者業務に支障のないよう円滑な進行を図ること。
- (2) 本業務の実施にあたっては関連する法令等を遵守し、業務従事者は十分な経験を有した者が実施すること。
- (3) 業務対象場所等においては、列車運行に関する重要かつ高価な設備等が多いので作業の安全及び関連機器設備へ障害を与えぬように充分注意すること。また、不慮の事故が発生した場合においては、速やかに委託者に報告すると共に、委託者の指示に従い受託者の責任において一切を処理すること。
- (4) 本業務による作業時間は、原則として9時00分～17時00分迄とする。
ただし、やむを得ず上記時間以外に業務を実施する場合は委託者の承諾を得ること。
- (5) 本業務に必要な工具、消耗品及び交換部品は、原則として受託者負担とする。
- (6) 業務完了後の清掃、片付け等については、完全に実施すること。
- (7) 業務の履行にあたり、産業廃棄物が生じた場合には、委託者の指定する場所に保管すること。

7. 提出書類

提出書類はすべてA4サイズとする。

○ 業務着手時

- ・ 業務着手届 2 部 着手と同時に
業務主任経歴書 袋綴じ及び割印
業務工程表
業務主任及び作業員名簿
(自社職員であることを証明できるもの添付)
資格一覧(氏名、資格免許の写し添付)
連絡体制表(緊急連絡先含む)

○ 業務実施時

- ・ 実施工程表 1 部 作業実施の10日以上前

○ 業務完了時

- ・ 業務完了届 2 部 完了と同時に
 - ・ 報告書 1 部 完了と同時に
 - ・ 作業写真 1 部 完了と同時に
- 報告書、作業写真については書類と別に電子データ(CD等)を提出すること。

8. 業務内容

(1) 仮設

井戸ポンプ引上・据付時に使用するチェーンブロック等の仮設を設置すること。

(2) 井戸浚渫作業

井戸ポンプ・揚水管及び低水位ケーブル等を引上げて、井戸底に溜まった堆積物を揚砂作業で除去する。

(3) 井戸洗浄作業

井戸ケーシング並びにストレーナーに付着しているスケールを洗浄作業で除去する。

(4) 揚水量の測定及び水質検査

作業前後にポンプの揚水量測定及び井戸水の水質検査を実施すること。

また、水質検査項目については、業務用飲用井戸定期水質検査12項目とする。

(5) 井戸ポンプの整備

(交換部品)

部品名	個数	備考
水中ポンプ	1台	50A×0.25m ³ /min、3.7kW 415V仕様
		(荏原製作所製 型式50BHS8-53.7B相当品)
低水位電極ケーブル	2本	40m 電極付
		(荏原製作所製 型式MA型 相当品)
揚水管	9本	SGP(白) 50A 4m/本 ねじ接合 継手含む

(6) 報告書作成

報告書の作成にあたっては、現状設備の把握及び今後の整備内容及び整備計画の基礎資料となるので、特に下記項目に留意して作成すること。

ア 現状の井戸ポンプ性能劣化状況・井戸汚れ錆発生状況・揚水管劣化状況

イ 整備サイクル時期の適・不適の考察

ウ 次回整備内容と整備時期の考察

(7) 業務写真撮影要領

業務写真は、作業内容・工程が十分把握できるように撮影すること。

9. 契約不適合責任

業務完了後に種類、品質又は数量に関して契約の内容に適合しないものを委託者が確認し、その原因が受託者の業務履行上の過失に起因する場合は、委託者の指示に従い、受託者が速やかに責任をもって修理復旧を行うこと。

10. 法令遵守（コンプライアンス）の徹底

受託業務の実施にあたっては、法令違反または不適切行為を防止するため、法令及び作業ルール等の遵守を徹底すること。

11. 札幌市環境マネジメントシステムの運用への協力

受託者は作業従事者へ本市の「環境方針」（別添）を周知し、本市の環境配慮に対する取り組みについて理解させること。

12. 異常時等の報告

(1) 委託業務の従事中において、地下鉄駅及び関係施設内で、通常とは異なる事象（損傷、異音、発熱、臭いなど）及び不審者、不審物に気づいた場合には、些細なことでも躊躇なく、委託者に報告すること。

(2) 業務の作業中に、設備等が、通常とは異なる事実気付いた場合には、委託者に積極的な報告を行うこと。

13. その他の特記事項

(1) 本仕様書に明記されていない事項については、委託者と協議すること。

(2) 仕様書について、不明な点は契約前、文書等にて確認の上遺漏のないように業務を遂行すること。

(3) 業務の遂行については、作業者の健康に留意し必ず複数の人数で点検すること。

(4) 業務中の事故については、受託者の負担において処理すること。

(5) 業務以外で緊急又は臨時的に実施した業務については、内容、使用資材、処理等について、速やかに報告すること。

(6) 業務実施場所は、近接する市民住宅等があるので騒音・振動等には、十分配慮すること。

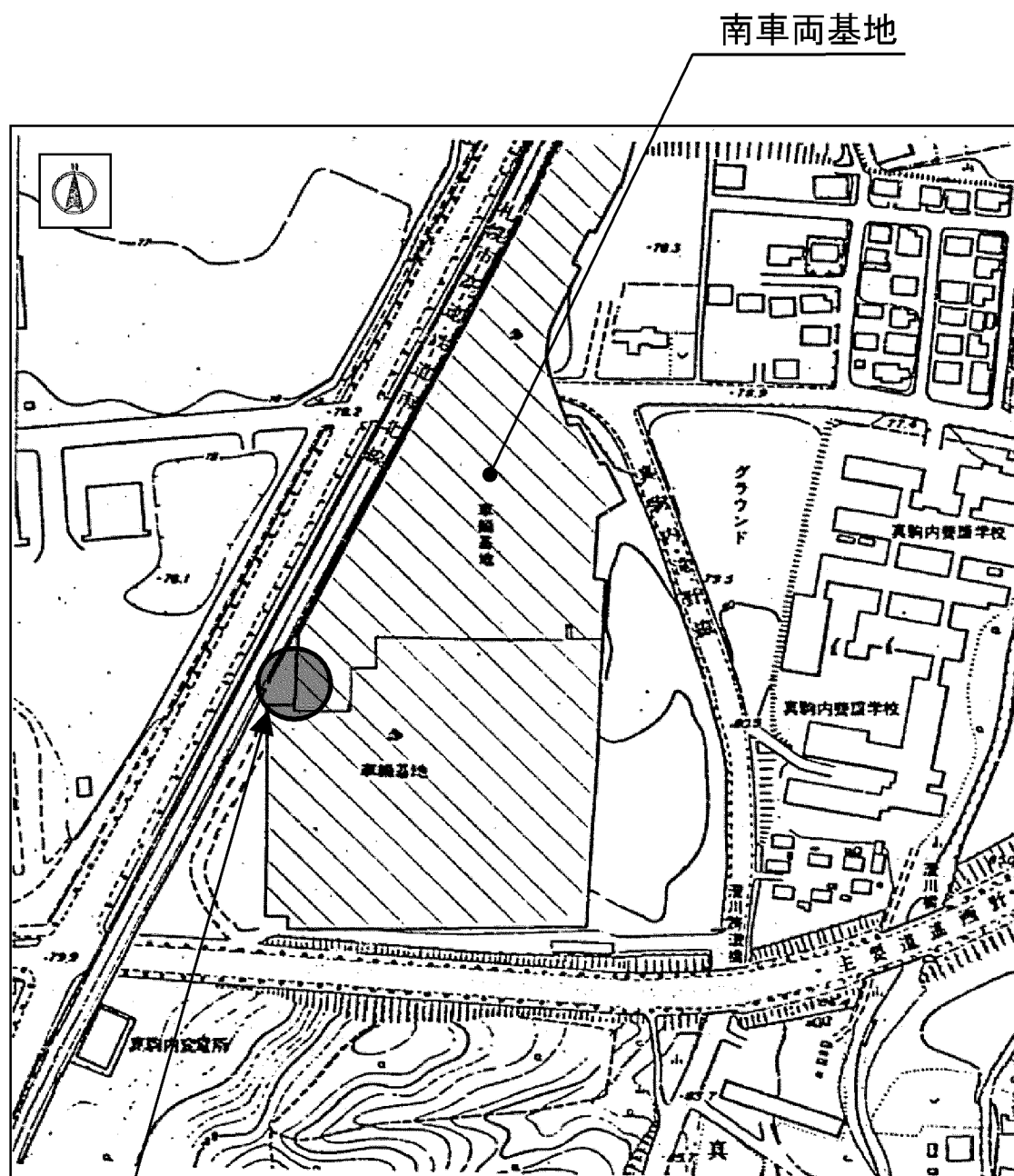
(7) 業務実施場所においては、歩行者や車両の通行があるため安全確保は、十分に行うこと。

(8) 作業者及び運搬車は、作業上の必要時以外は、アイドリングストップを励行し付近住民及び関係施設者に対する騒音等及び環境に十分に配慮すること。

(9) 道路占有許可が必要な場合は、受託者がその手続きを行い、写しを委託者に提出すること。

(10) 本業務に必要な電源は受託者負担とする。

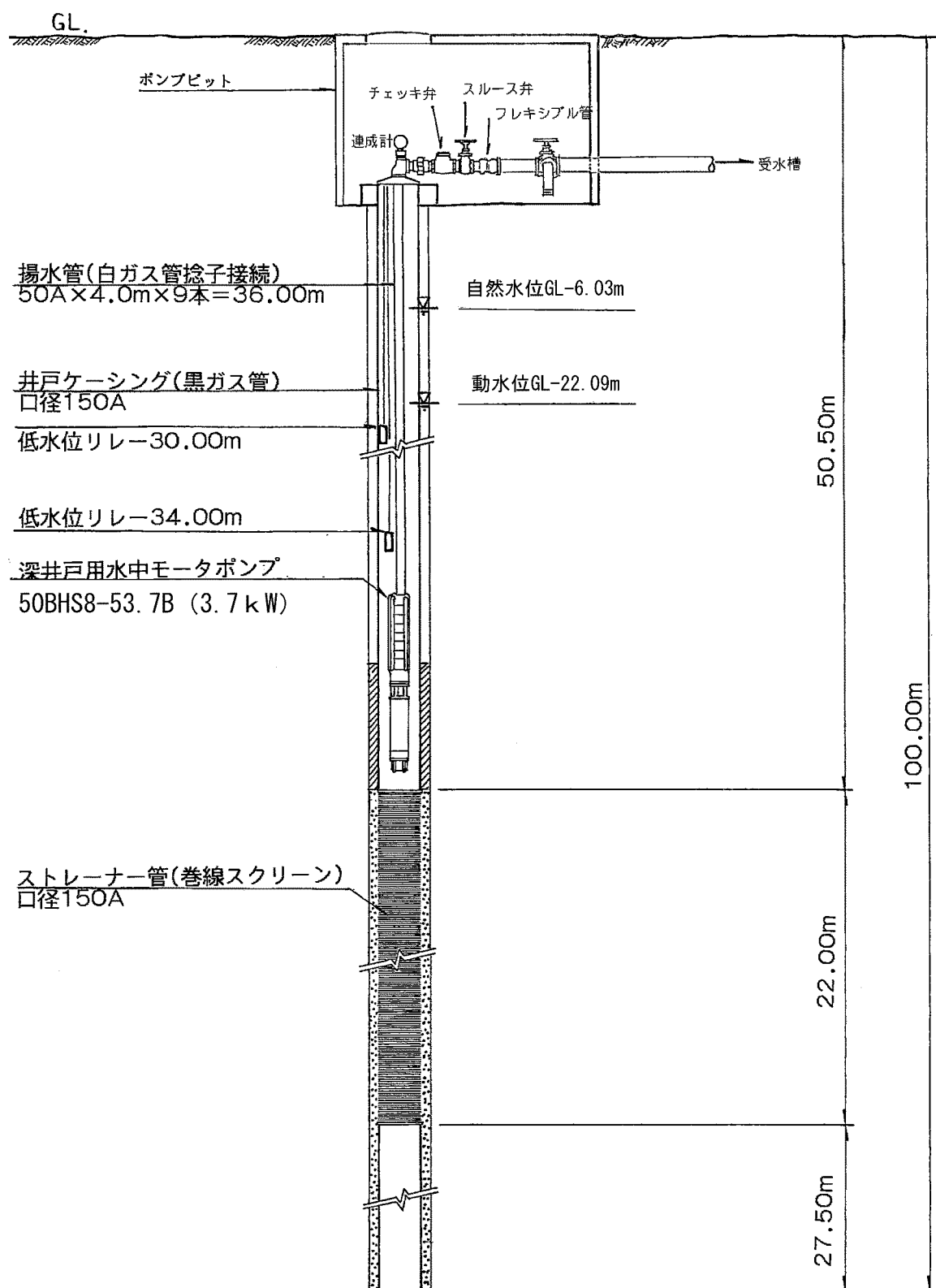
＜オーバーホール対象井戸設置場所＞



該当井戸設置場所

札幌市南区真駒内東町2丁目1番1号

井戸ポンプ据付参考図



環境方針

1 基本理念

札幌市役所は、地球環境への負荷を継続的に低減するため、エネルギー使用量及び温室効果ガス排出量の削減など、環境配慮取組の推進に努めてきました。

近年、気象災害をはじめとした気候変動の影響が深刻化する中、脱炭素社会の構築に向けて、気候変動対策は大きな転換期を迎えています。

札幌市においても、地球の平均気温の上昇を1.5℃に抑える努力を追求するというパリ協定の目的を踏まえて、2050年の目標に「温室効果ガス排出量を実質ゼロにする（ゼロカーボン）」を設定するとともに、2030年についても高い目標を掲げて温室効果ガスの排出量の削減に取り組んでいくこととしました。

札幌市役所は、市域の温室効果ガスの約6%を排出する市内最大級の事業者であり、自ら排出量の削減に率先して取り組む姿を市民・事業者へ示していく必要があります。

そのため、徹底した省エネルギー対策を進め、そのうえでどうしても必要なエネルギーは再生可能エネルギーへと転換していくことを基本的な方向として、環境マネジメントシステムによる継続的改善を図り、札幌市役所の事務事業に伴うエネルギー使用量及び温室効果ガス排出量を着実に削減していきます。

また、国連「持続可能な開発目標（SDGs）」の視点を踏まえ、環境配慮取組を推進することで、温室効果ガス排出量の削減のみにとどまらず、経済、社会分野の統合的解決を目指すとともに、市民・事業者・行政が協働し、一体となって脱炭素社会に向けて取り組むことで、「心豊かにいつまでも安心して暮らせるゼロカーボン都市「環境首都・SAPPORO」」の実現を目指してまいります。

2 基本的方向

全ての部局は、所管する事務事業について、環境に関する法令を遵守することはもとより、SDGsの視点も踏まえながら環境配慮取組を推進し、脱炭素社会の実現に向けて、以下の項目に重点的に取り組みます。

- 1 徹底した省エネルギー対策を進めます。
- 2 再生可能エネルギーの導入を拡大します。
- 3 移動における脱炭素化を進めます。
- 4 廃棄物の発生・排出を抑制し、省資源・資源循環を推進します。
- 5 環境負荷の少ない製品やサービスを利用します。
- 6 事務事業のみならず、公共工事・委託業務における環境負荷を低減します。
- 7 環境問題に関する啓発・教育活動を推進します。

この環境方針による環境活動の成果は、市民に公表するとともに、市民からの意見を市政運営に反映させていきます。

令和3年4月1日

札幌市長 秋元克広

札幌市環境局

公 示 用

令和 4 年度

設 計 書(見 積 参 考)

業務名：南車両基地井戸オーバーホール

本設計書は、発注者の施工計画に基づいて作成した設計図書の一部を、見積り算定の参考として提示するもので、契約上、これを拘束するものではありません。

札幌市交通局高速電車部施設課

内訳表				札幌市交通局高速電車部施設課	
名 称	規 格	数 量	単 位	金 額	備 考
業務名：南車両基地井戸オーバーホール					
業務費					
業務価格					
業務原価					
直接業務費					
直接人件費		1	式		
直接物品費		1	式		
直接業務費計					
業務管理費		1	式		
業務原価計					
一般管理費		1	式		
業務原価計					
消費税等相当額		10	%		
業務費計					

名称・仕様	数量	単位	単価	査定率	査定単価	査定単価 再計算	金額	備考
1. 直接人件費								
仮設費	1	式						
井戸内浚渫作業費	1	式						
井戸内洗浄作業費	1	式						
揚水試験費	2	回						
水質検査費	2	回						
ポンプ引上・据付費	1	式						
運搬費	1	式						
合 計								
2. 直接物品費								
水中ポンプ	吐出口径:50A 揚水能力:0.25m3/min 水中ケーブル60m 電動機出力:3.7kW415V	1	台					住原製作所製 型式50BIIS8-53.7B 相当品
配管用炭素鋼鋼管	SGP(白) 50A 4m/本 ねじ接合 継手含む	9	本					
低水位電極ケーブル	40m 電極付	2	本					
機械器具損料		1	式					
雑材消耗品等		1	式					
合 計								